



湯田 哲 議員

結カードの活用と未来は

町長 住民の交流が図られるよう実施する

問

町と泉崎村との「結」協定した「結カード」が発案・決定・実行されるまでの経過は。

町長

平成20年9月24日締結しました。南会津町の対応は、公共施設や第3セクター等の料金割引をし、泉崎村では公共施設など少ないため、一般商店などの利用割引など、お互いの地域資源の活用と、住民の交流が進むよう4月から実施しました。

問

現在の登録者数と利用状況は。

町長

6月22日現在で南会津町の登録者数86名、泉崎村では138名です。泉崎村民の利用は祇園会館で5名、奥会津博物館で2名です。南会津市民の利用は現在ありませんが、今後PRに努め交流を深めていきます。

問

図書カードの生涯学習活動に参加した回数をもポイント化して履歴を残し、参加意識を高めるために利用できませんか。

ICカードを利用した生涯学習の参加確認システム導入は。

教育長

技術的な問題のほか、行政機関の保有する個人情報への保護に関する法律の保有・利用・提供の制限など、個人情報の取り扱いの問題もあり、現時点での運用は難しいです。

今後は、別の角度から参加意識の高まる方向性を考えます。



ICカードで情報を管理できるシステム

人間重視・理想のOA化とは

町長=業務のさらなる効率化・情報発信の強化をしていく

問

来春の職員採用でコンピュータの専門職員の募集をしていますが、仕事の具体的内容と効果は。

町長

複雑多様化する情報化のなかで、既存システムの検証と、さらなる活用はもちろんIT技術利用の業務の効率化や情報発信の向上を担い、財政負担の軽減など情報発信の強化につながるかと考えます。

その他の質問  
おとなの学校とは